

事業評価書

補助事業名	千歳飛行場関連公共用施設(環境衛生施設：大気汚染常時監視測定機器)整備事業						
補助事業者名	苫小牧市長						
実施場所	苫小牧市一般環境大気勇払測定局（苫小牧市字勇払27番地2）						
補助事業の成果の目標	<p>苫小牧市一般環境大気勇払測定局のオゾン測定装置及び窒素酸化物測定装置は、導入からそれぞれ16年及び22年が経過し、メーカーの補修部品供給も終了している状況である。</p> <p>また、現在の測定装置には、専用紙を使用する記録計が1台毎に付属しているが、測定値の確認は現地で行う必要がある。これをデジタル化することで、親局で詳細な測定データを確認できるため、機器等に異常が発生した際に迅速な対応が可能となる。</p> <p>本事業により、市内の大気環境を測定し、大気の汚染が一定の基準以上となり住民の健康又は生活環境に影響が生じるおそれがある場合は、注意報や警報の発令を行い、住民の安全を確保することを目標とする。</p>						
補助事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大気中オゾン測定装置及び大気中窒素酸化物測定装置の更新 ・デジタル記録計の導入 						
補助事業の始期及び終期	令和2年7月～令和2年10月						
事業費及び交付金額		令和元年度	令和2年度	令和3年度 予定	令和4年度 予定	令和5年度 予定	計
	事業費	円	円 6,567,000	円	円	円	円 6,567,000
	交付金額		6,300,000				6,300,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・整備後、故障・不具合の発生はなく、安定した大気環境測定ができています。 ・デジタル記録計導入による効果について保守点検委託業者より、「測定機の異常をデジタル記録計ですべて把握できるため、メンテナンスの迅速性が向上した」との報告があった。 ・測定結果を公表している市ホームページ（大気汚染の状況について）にて「特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」である旨を掲載、また装置本体にも表示し周知を行った。 						
事業の改善措置及び今後の対応	地域住民の健康及び生活環境に係る被害の発生を未然に防ぐことを目的に、今後も精度の高い測定を維持できるよう保守点検等の管理に取り組む。						
事業の評価に際しての第三者機関の有無	無						

事業評価書

補助事業名	千歳飛行場関連公共用施設（交通施設：道路パトロール車購入）整備事業						
補助事業者名	苫小牧市長						
実施場所	道路管理事務所（苫小牧市字糸井402-4）						
補助事業の成果の目標	<p>苫小牧市では、市内を3地区に分け道路の異常の発見及び苦情対応に道路パトロール車を使用しており、冬期は除雪作業の現場指揮も行っている。</p> <p>また、災害発生時には緊急車両としていち早く状況を把握し対応するという責務を担っている。</p> <p>現在使用している車両は15年が経過し、老朽化が著しく故障が多くなっていることと、今後部品の調達が困難になってくる状況から、本事業を実施することによりパトロール体制の強化を図り道路の異常を早期に発見し、市民への迅速な対応をし、生活環境を改善する。</p>						
補助事業の内容	道路パトロール車 1台						
補助事業の始期及び終期	令和2年8月～令和3年2月						
事業費及び交付金額		令和元年度	令和2年度	令和3年度予定	令和4年度予定	令和5年度予定	計
	事業費	円	円	円	円	円	円
	交付金額		5,900,000				5,900,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業によって、車両故障もなくなり令和3年度からパトロール地区の拡大を行っており、安全かつスムーズな維持管理作業を遂行できた。</p> <p>また、当該車両整備が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨の地域住民への周知を、以下の方法により図った。</p> <p>①市ホームページ（本事業の実施及び完了のお知らせ）</p> <p>②当該車両の車体への表示</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も市民の生活環境を維持するため、適正な維持管理を行う。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	千歳飛行場関連公共用施設（教育文化施設：児童用机・椅子）整備事業						
補助事業者名	苫小牧市長						
実施場所	苫小牧東小学校（苫小牧市旭町1丁目7番10号）外11校						
補助事業の成果の目標	<p>現在、苫小牧市内で使用されている、旧日本工業規格の机・椅子は老朽化が激しく、机天板や座板のささくれ等による怪我・衣服の破損等が報告されている。</p> <p>また、教科書の大判化により、児童の学習スペースが狭いことから、本事業を実施することで、児童の学習環境及び安全性の向上を図る。</p>						
補助事業の内容	<p>全体：児童生徒用机・椅子 6,662組</p> <p>今年度：児童用机・椅子 505組</p>						
補助事業の始期及び終期	<p>全体：平成26年度～令和3年度</p> <p>今年度：令和2年8月～令和3年1月</p>						
事業費及び交付金額		令和元年度 まで	令和2年度	令和3年度 予定	令和4年度 予定	令和5年度 予定	計
	事業費	円 52,927,689	円 11,998,800	円 17,794,040	円	円	円 82,720,529
	交付金額	49,213,000	11,000,000	16,000,000			76,213,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>机・椅子を更新し、対象校へ聞き取りを行ったところ、「衣服の損傷が無くなった」、「大判の教材に対応する学習スペースが確保された」などの評価を受けたことから、安全性の確保及び学習環境の向上が図られた。</p> <p>なお、当該事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金によるものであることを、市ホームページへの掲載、学校掲示板へのポスター掲示や机・椅子それぞれに表示することにより、保護者や市民への周知を行った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も、適切な管理を行いながら計画的に事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	千歳飛行場関連公共施設（交通施設：美々遠浅道線防雪柵設置）整備事業						
補助事業者名	苫小牧市長						
実施場所	苫小牧市字美沢17番地先						
補助事業の成果の目標	当該路線は、地形的・気象的要因から発生する吹雪により、通行車両の視程障害・歩行者の通行障害が発生し安全が損なわれている。 本事業の実施により、視程障害・通行障害を防止し、生活環境の改善を図る。						
補助事業の内容	全体：防雪柵工 L=1,134m H=3.5m 本年度：防雪柵工 L=49.0m H=3.5m						
補助事業の始期及び終期	全体：平成23年度～令和6年度 本年度：令和2年10月～令和3年1月						
事業費及び交付金額		令和元年度 まで	令和2年度	令和3年度 予定	令和4年度 予定	令和5年度 以降予定	計
	事業費	円 170,650,632	円 15,950,000	円 20,800,000	円 16,800,000	円 29,600,000	円 253,800,632
	交付金額	157,410,000	15,000,000	18,700,000	15,000,000	26,300,000	232,410,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本事業によって、吹雪による視程障害・通行障害を防止すると同時に、生活環境が改善された。また、当該路線整備が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨の地域住民への周知が、以下の方法によって図られた。 ① 市ホームページ（本工事の実施及び完了のお知らせ） ② 同地区の町内会へ配布する工事のお知らせチラシ						
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも地域住民の理解を得ながら事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	千歳飛行場関連特定事業（防災に関する事業：災害用備蓄品購入）						
補助事業者名	苫小牧市長						
実施場所	植苗小中学校(苫小牧市字植苗50番地)ほか16箇所						
補助事業の成果の目標	<p>苫小牧市では、「苫小牧市地域防災計画」に基づき、インフラ整備や避難場所の指定などハード・ソフトの両面から防災対策を行っている。</p> <p>本事業により、被災時などにおける市民への物資供給のため必要性が高く備蓄可能な災害用備蓄品を購入し、災害時には市民が安心出来るように防災備品の拡充を図る。</p> <p>なお、苫小牧市では平成24年度から令和5年度までにおいて、約1万人分の備蓄品の整備を計画しており、当事業は計画の8ヶ年目で約5.3%（全体：93.04%）にあたる備品の整備を目標としている。</p>						
補助事業の内容	敷マット1,000枚、ワンタッチ間仕切り115個						
補助事業の始期及び終期	全体 平成24年度～令和5年度 本年度 令和2年12月～令和3年2月						
事業費及び交付金額		令和元年度 まで	令和2年度	令和3年度 予定	令和4年度 予定	令和5年度 予定	計
	事業費	円 98,587,617	円 2,989,800	円 9,741,600	円 9,741,600	円 10,484,100	円 131,544,717
	交付金額	92,101,000	2,751,000	8,963,000	8,963,000	9,646,000	122,424,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>災害時に避難所で必需品となる、備蓄品(敷マット、間仕切り)を購入し整備したことにより、市民の安全・安心を守る防災備品として貢献している。敷マットについては、目標備蓄数量を達成した。また、購入品に、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を表示するとともに、市HPへ5月に掲載した。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	<p>今後も東日本大震災、熊本地震及び平成30年北海道胆振東部地震を教訓とした検証を行い、整備計画の見直しや計画的な備蓄配備に努めていく。</p>						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	千歳飛行場関連公共用施設（教育文化施設：学校給食配膳ワゴン）整備事業						
補助事業者名	苫小牧市長						
実施場所	苫小牧東小学校（苫小牧市旭町3丁目3番4号）ほか21校						
補助事業の成果の目標	<p>小学校においては、給食配膳室から各学級への給食の運搬は、児童が配膳ワゴンを用いて行っている。</p> <p>現在、配置されている配膳ワゴンでは、新第2学校給食共同調理場の稼働とともに予定されている給食品数の増加への対応が困難である。また、老朽化も進んでおり、錆が付き、ローラーが動かないなどの不具合がある。</p> <p>本事業を実施することで、品数の増加に対応し、また、児童が円滑に給食を運搬できるようにし、もって安全で安心な給食の提供を行う。</p>						
補助事業の内容	学校給食配膳ワゴン(ステンレス製) 310台						
補助事業の始期及び終期	令和2年12月～令和3年3月						
事業費及び交付金額		令和元年度	令和2年度	令和3年度 予定	令和4年度 予定	令和5年度 予定	計
	事業費	円	円	円	円	円	円
	交付金額		14,492,500				14,492,500
			13,500,000				13,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業によって、学校給食配膳ワゴンが整備され、給食担当の教諭や配膳員に聞き取りをしたところ、「ローラーがスムーズに動き、まっすぐ進むので児童が安全に給食を運べるようになる。」、「以前のワゴンと違い、錆がないのでしっかり汚れの拭き取りができるので、より清潔になる。」との意見があり、学校環境の向上に大きく寄与したものと評価できる。</p> <p>整備した学校給食配膳ワゴンには、特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用して整備した旨シールを貼付するとともに、市教委ホームページと学校掲示ポスターにより市民や保護者に周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後長期で使用できるよう丁寧に扱うことを学校に対し指導し、適正に管理していく。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	千歳飛行場関連公共施設（スポーツ又はレクリエーションに関する施設：沼ノ端スケートセンター電気設備改修工事）整備事業						
補助事業者名	苫小牧市長						
実施場所	沼ノ端スケートセンター（苫小牧市北栄町3丁目2番3号）						
補助事業の成果の目標	<p>沼ノ端スケートセンターは、供用開始から多くの市民に利用されているが、建設から20年が経過し、電光表示システムの部品が製造中止となっており、今後の維持が難しくなっている。</p> <p>また、リンクの照明はH I Dランプの1つである、メタルハイドロランプを使用しているが、既に多くのメーカーが生産を終了しており、安定的な部品供給が難しくなっている。</p> <p>以上のことから、本施設の電光表示システム及びL E D照明設備改修工事を実施し、地域住民が気軽にスケートを楽しめる場として、快適かつ安定的に利用できるよう整備する。</p>						
補助事業の内容	電光表示システム及びL E D照明設備改修工事 一式						
補助事業の始期及び終期	令和2年10月～令和3年3月						
事業費及び交付金額		令和元年度	令和2年度	令和3年度 予定	令和4年度 予定	令和5年度 予定	計
	事業費	円	円	円	円	円	円
	交付金額		65,959,300				65,959,300
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>これまでの照明は、一度消灯すると再点灯するには30分程度待たなければならなかったが、L E D照明への改修により解消されたため、快適かつ効率的な作業・施設運営が行えていることを、指定管理者への聞き取りにより確認することができた。</p> <p>また、8月実施の大会後に利用者からの聞き取りを行ったが、照明のL E D化によりリンクが明るくなりプレー環境が向上した、電光表示の残り時間等も以前より見やすくなった、との回答をいただき、快適に利用していただくためのリンク環境の整備ができたことを確認できた。</p> <p>なお、電気設備の更新が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを以下の方法により、地域住民への周知を図った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 市ホームページへの掲載 2) 本施設に設置するプレートへの記載 						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も利用者が快適に利用できるよう、事業を計画的に実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						